

(陳受31第10号)

武蔵野市第六期長期計画都市整備における吉祥寺駅周辺再整備に関する陳情

受理年月日	令和元年8月26日
陳情者	吉祥寺本町4-5-5 山本 富士雄

陳情の要旨

第六期長期計画では、吉祥寺駅南口再開発については、整備事業を推進し、パークロードの交通環境の改善や、駅周辺の交通体系の再編につき、検討するとしながら、何ら具体的な内容とスケジュールの記述がありません。吉祥寺南口駅前地区再開発準備組合（理事長 浜名康一）ができて、7年半が過ぎても、何ら具体的な成果が上がらず、南口バス停が井ノ頭通りに点在し、わかりにくく、乗降には時間がかかり交通渋滞を引き起こしています。また、狭いパークロードの歩行は、大型バスが走るため、極めて危険でもあります。都市計画的に見て、駅前広場の必要性は論をまちません。長期計画策定委員の中に、都市計画の学識経験者もおられないのは大きな問題です。将来、入れていただきたい。未来を形づくり、よい資産を子孫に残す都市計画は、都市観光の観点からも、極めて大事であります。都市計画専門の学識経験者を加えて、策定を再検討してほしいと考えます。

公共性の高い駅周辺であることから、自治体主導または公民連携してのまちづくりを検討するのは当然のことです。

現在までの、駅前再開発の具体的な検討の経過を市民に示し、その説明責任を果たすことを要望します。

以上のことから、下記事項について、市に求めるとともに、市議会におかれましては、厳しい質疑を求めます。

記

- 1 吉祥寺駅周辺の再整備事業を速やかに計画策定しない理由を明らかにすること。
- 2 直下型地震等の被害想定、商業振興における今後の経済動向、オリ・パラを境とした観光推進の展望、福祉性能バリアフリー・ユニバーサルデザインの課題認識、環境負荷低減のまちづくりの必要性の認識、地価高エリアの再開発コスト試算と経済波及効果について、市の検討経過を明らかにすること。
- 3 武蔵野市第六期長期計画に、「吉祥寺駅周辺の再整備を速やかに着手する」を記述すること。